

一般社団法人日本臨床検査医学会 2014 年度に係る定時社員総会 議事録

日 時：2015 年 3 月 28 日（土）16 時～16 時 45 分
場 所：学士会館 2F 202 号室 東京都千代田区神田錦町 3-28（〒101-8459）
出 席：社員（評議員）50 名、名誉会員 4 名、功労会員 7 名
委任状：137 通

会に先立ち、村田満理事長より挨拶があり、その後、議長となり、定時社員総会の決議にあたり、社員数 245 名のところ社員出席者数と委任状数を合わせて半数を越えるため（187 名）当会での決議は成立することが報告され、安東由喜雄理事と本田孝行理事を議事録署名人と定め、議事を進めた。

会議の目的事項

決議事項

第 1 号議案 2014 年度事業報告および計算書類承認の件（米山彰子 庶務理事、村田 満 理事長、諏訪部章 会計理事、）

事業報告書、貸借対照表、損益計算書、事業成績及び財産状況の推移、監査報告書が提示された。

米山彰子庶務理より、2014 年度の会員数、刊行物、会議・認定事業の日程及び会場、各種委員会活動、主な関連団体事業について報告された。

村田満理事長より、2014 年度の事業概況、経過及び実績として、社会公共性への取組み、学会活動、対処すべき課題として学会活動の活性化、社会の求める臨床検査専門医・臨床検査管理医の養成、臨床検査に関わる倫理観の向上、法人の概況として、主な事業内容、社員数、役員数等が報告された。

諏訪部章会計理事より計算書類について説明報告された。

過去 4 年間の事業成績及び財産の報告がされた。

一般会計、収入については予算比、会費、検査診断事典の増収に対して、賛助会費、外販・広告収入の減収が見られ、賛助会費は 4 社が退会したためであり本年度は常任理事はじめ理事で協力依頼をしていくこと、支出については、機関紙発行費用が 500 万円ほど増加したことについて、ページ数の増加と非会員の依頼原稿でのカラー代金、トピックスの原稿料などが主な要因であるため、編集委員会に依頼原稿ではできる限りモノクロとしてカラーページは制限を設けるなどの検討依頼をしたこと、委員会活動費は 60 万円程度予算より少ないが、委員会活動としてメール会議や集会等の機会の利用で節約していると思われること、結果として収支差額は 200 万円ほどの増収であった。

特別会計は、JACLaS からの寄付金が予算通り 1,200 万円あり、第 61 回学術集会に補助金として 1,200 万円を支出した。

アジア交流基金は、韓国での第 13 回 ASCPaLM 会議への補助金が 50 万円予算立てされていたが、韓国からの請求、送金口座の連絡がないため執行されていない。

学会賞基金は、3 社より学会賞寄金として 200 万円の収入、副賞 160 万円の支出と予算通りであった。

第 60 回学術集會会計報告がされ、2014 年度に係る定時社員総会での承認後、当会会計と合算して税務申告すること、2014 年度末の現預金残高が報告された。

高木康監事より、2015年3月9日に学会事務所で会計監査を行い、事業報告、会計書類の確認をし、理事職務遂行、会計報告書類は正しく記載し合致しておりの確であると監査報告があり、承認された。

[2014年度事業報告および計算書類](#)

閉会の挨拶（前川真人 副理事長）

前川真人副理事長より閉会の言葉があり、2014年度に係わる定時社員総会は閉会された。

以上

議事録署名人

藤田清貴 

本田寿行 